

要緊急安全確認大規模建築物の耐震診断の結果（兵庫県が所管するもの）

次の各表における耐震診断の結果は、震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。いずれの建築物も、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模の地震に対しては、損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

「耐震改修等の予定」欄には、「大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い」（末尾の附表の区分）と評価される場合には、耐震改修等の必要がないことから「-」を、それ以外の場合であっても、耐震改修等の予定がある場合はその内容を記載している。

体育館（一般公共の用に供されるものに限る。） ボーリング場、スケート場、水泳場その他これらに類する運動施設

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	たつの市立龍野体育館	たつの市龍野町富永1005番地1	体育館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so} = 1.31$ $C_r \cdot S_0 = 0.46$	-	-	
2	赤穂市民総合体育館	赤穂市加里屋1278	体育館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.19$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.32$	-	-	
3	青山スポーツガーデン	太子町山田668番地2他	ボーリング場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s = 0.14$ $q = 0.56$	耐震改修	平成30年着工	

病院又は診療所

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	三木山陽病院	三木市志染町吉田1213-1他	病院	-	-	-	-	
	A棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.36$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.85$			
	B棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 1.14$ $q = 1.52$			
	C、D、E棟			建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあっては、地震に係る部分に限る。))に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる			
2	市立加西病院(本館)	加西市北条町横尾字東川向430-1	病院	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)(鉄骨材が充腹材の場合)	$I_s/I_{so} = 0.35$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.19$	検討中		$U=1.10$
3	公立豊岡病院日高医療センター	豊岡市日高町岩中81	病院	-	-	検討中	-	
	本館(A)、本館(B)、新館、空調機械室			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 0.50$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.32$			
	新館増築部			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.21$ $q = 0.86$			

4	柏原赤十字病院	丹波市柏原町柏原字小竹 1180 番地外 16 筆	病院	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	-	-	新病院への統合により閉院し、統合後に建物全体を除却予定(時期未定)	
	本館				$I_s/I_{so}=1.09$	-		
	A病棟				$C_{70} \cdot S_0 = 0.69$	除却		統合後
	B病棟				$I_s/I_{so}=0.98$	-		-
C病棟	$I_s/I_{so}=1.05$	$C_{70} \cdot S_0 = 0.43$	-	-				
5	兵庫県立柏原病院(本館北棟・南棟)	丹波市柏原町小南	病院	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so}=0.37$	$C_{70} \cdot S_0 = 0.33$	未定	平成31年度に新病院へ移転予定

劇場、観覧場、映画館又は演芸場

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考	
						内容	実施時期		
1	豊岡市民会館	豊岡市立野町 20-34	劇場	-	-	-	-		
	会館棟、歩道橋			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$				$C_{70} \cdot S_0 = 0.75$
	文化ホール棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)(鉄骨材が非充腹材の場合)	$I_s/I_{so} = 1.02$				$C_{70} \cdot S_0 = 0.38$

集会場又は公会堂

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	西脇市総合市民センター(アリーナ棟、研修棟、武道場棟)	西脇市西脇 790-15 番地	集会場	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$	$C_{70} \cdot S_0 = 0.47$	-	
2	加西市民会館	加西市北条町古坂 1 丁目 1 番地	集会場	-	-	-	-	$U = 1.25$
	文化ホール			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$	$C_{70} \cdot S_0 = 0.38$	-	
	コミュニティセンター				$I_s/I_{so} = 0.68$	$C_{70} \cdot S_0 = 0.53$	耐震改修	平成31年9月着工 平成32年8月完了
3	赤穂市民会館	赤穂市加里屋中洲 3 丁目 55 番地	公民館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.03$	$C_{70} \cdot S_0 = 0.86$	-	$U = 1.25$
4	国立淡路青少年交流の家	南あわじ市阿万塩屋町 757-39	集会場	-	-	-	-	
	談話棟、本館、講堂・食堂棟、宿泊棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$	$C_{70} \cdot S_0 = 0.73$	-	
	渡り廊下				$I_s/I_{so} = 0.56$	$C_{70} \cdot S_0 = 0.15$	耐震改修	

百貨店、マーケットその他の物品販売業を営む店舗

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	コープこうべ コープ志染	三木市志染町西自由が丘 1-166	物品販売店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s = 0.73$	$q = 1.71$	-	
2	赤とんぼ広場	たつの市龍野町堂本 260-1	物品販売店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$	$C_{70} \cdot S_0 = 0.62$	-	

3	イオン竜野店	たつの市堂本五反田 250-1	物品販売店舗	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.01$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.65$	-	
---	--------	-----------------	--------	--	--	---	--

ホテル又は旅館

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	HOTEL THE PAVONE	三木市細川町垂穂横山 894-60 他 845 筆	ホテル	-	-	-	-	U = 1.10
	レクリエーションセンター多目的ホール、大浴場、集会室			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所用の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{s0} = 1.21$			
	レクリエーションセンター本館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.12$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.82$			
	ホテル西館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0} = 1.55$ $C_r \cdot S_0 = 0.30$			
	ホテル東館		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1997年版)(鉄骨材が充腹材の場合)	$I_s/I_{s0} = 1.20$ $C_r \cdot S_0 = 0.27$				
2	大江戸温泉物語きのさき	豊岡市城崎町菊屋島字桃島 1232	旅館	-	-	-	-	
	本館 PH 階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所用の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{s0} = 1.05$			
	本館 1~6 階 RC 造部分、別館 1,2 階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.00$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.62$			
	本館 1,2,6,7 階 S 造部分、別館 3 階		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.63$ $q = 1.05$				
3	西村屋ホテル招月庭	豊岡市城崎町湯島字神主谷 1016-2	旅館	-	-	-	-	
	高層棟、低層棟、増築棟 4 階 ~ PH2 階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.00$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.60$			
	増築棟 1 階 ~ 3 階		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)(鉄骨材が非充腹材の場合)	$I_s/I_{s0} = 1.00$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.46$				
4	深山楽亭(深山館)	豊岡市城崎町湯島字甲香 1011 番地	旅館	-	-	-	未定	RC 棟は補強設計時に、一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」を行う予定。
	階段室棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所用の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{s0} = 2.27$			
	RC 棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 0.23$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.15$			
	n 客室棟、w 客室棟、厨房棟、渡廊下棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.002$ $q = 0.01$			
	電気室棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.00$ $q = 0.00$			
	木造棟		一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「精密診断法」	上部構造評点 = 0.10				
5	奥城崎シーサイドホテル	豊岡市竹野町竹野字賀嶋 4 番	旅館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 0.34$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.23$	耐震改修	平成 31 年 1 月着工 平成 31 年 12 月完了	
6	三好屋	美方郡新温泉町湯 1671-3	旅館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 0.16$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.14$	耐震改修	平成 30 年度着工	
7	淡路島観光ホテル	洲本市小路谷 1053 番地の 17	旅館	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 0.03$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.09$	耐震改修	検討中	

8	ホテル海月館	洲本市海岸通1丁目 3番11号	旅館	-	-	耐震改修	平成32年4月着工 平成36年10月完了	
	0期部分、1期部分1・2階、2 ～4期部分			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 0.13$ $C_{70} \cdot S_D = 0.07$			
	1期部分3階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震 診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.005$ $q = 0.02$			

飲食店、キャバレー、料理店、ナイトクラブ、ダンスホールその他これらに類するもの

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の 地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	西脇カントリークラブ クラブハ ウス	西脇市上比延町字 石仏1426-1	ゴルフ場 クラブハウス	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 0.60$ $C_{70} \cdot S_D = 0.49$	未定		

理髪店、質屋、貸衣装屋、銀行その他これらに類するサービス業を営む店舗

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の 地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	但馬信用金庫本館	豊岡市中央町17-8	銀行	-	-	-		
	西棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.05$ $C_{70} \cdot S_D = 0.36$			
	東棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリ ート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1997年 版)(鉄骨材が充て材の場合)	$I_s/I_{s0} = 1.03$ $C_r \cdot S_D = 0.55$			

保健所、税務署その他これらに類する公益上必要な建築物

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の 地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	西脇市役所 (庁舎棟、議会棟)	西脇市郷瀬町605番 地	市役所	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 0.12$ $C_{70} \cdot S_D = 0.12$	建替え	平成30年10月着工 平成32年8月完了	
2	赤穂市庁舎	赤穂市加里屋81番 地	市役所	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリ ート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1983年 版)	$I_s/I_{s0} = 1.23$	-		
3	豊岡総合庁舎 (本館棟・保健所棟)	豊岡市幸町7-11	総合庁舎	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.26$ $C_{70} \cdot S_D = 0.84$	-		

幼稚園、小学校等又は幼保連携型認定こども園

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の 地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	猪名川町立松尾台小学校 (校舎)	川辺郡猪名川町松 尾台2丁目3番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.13$ $C_{70} \cdot S_D = 0.34$	-		
2	猪名川町立中谷中学校 (南棟、渡り廊下棟、中央棟)	川辺郡猪名川町原 字尾鼻ヶ尾747番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.06$ $C_{70} \cdot S_D = 0.31$	-		
3	稲美町立天満小学校 (普通教室棟)	加古郡稲美町岡 538	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0} = 1.23$ $C_r \cdot S_D = 0.31$	-		
4	稲美町立天満南小学校 (管理・普通・特別教室棟)	加古郡稲美町森安 81	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.25$ $C_{70} \cdot S_D = 0.40$	-		
5	稲美町立稲美中学校 (管理教室棟・普通教室棟、特別教 室棟・渡廊下棟)	加古郡稲美町岡 2075-1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造 建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.18$ $C_{70} \cdot S_D = 0.38$	-		

6	播磨町立播磨西小学校 (校舎棟)	加古郡播磨町北本 庄 4 丁目 5 番 1 号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so} = 1.25$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.39$	-			
7	播磨町立蓮池小学校	加古郡播磨町西野 添 4 丁目 3 番 1 号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so} = 1.35$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.47$	-	耐震改修	平成 31 年 6 月着工 平成 32 年 3 月完了	診断未実施の給食室 2 (23 m ²) 部分は、給食 室 1 (189 m ²) の耐震改 修時に除却予定。
	北校舎、昇降口、管理・教室棟 渡り廊下・給食室 1				$I_s/I_{so} = 0.44$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.34$	-			
8	播磨町立播磨小学校 (南校舎、北校舎棟、渡り廊下 1)	加古郡播磨町宮北 1 丁目 3 番 10 号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so} = 1.08$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.46$	-			
9	播磨町立播磨南中学校 (北校舎棟)	加古郡播磨町古宮 243-9	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so} = 1.04$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.56$	-			
10	播磨町立播磨中学校 (南校舎棟、教室棟、渡り廊下、北校舎棟)	加古郡播磨町南大 中 1 丁目 6-50	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.38$	-			
11	兵庫県立東はりま特別支援学校	加古郡播磨町北古 田 1-17-17	特別支援学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 3 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so} = 1.43$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.40$	-		$U = 1.25$	
12	西脇市立重春小学校 (本館棟、本館増築棟、昇降口棟、校舎棟)	西脇市野村町 1795-185 番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so} = 1.04$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.37$	-			
13	西脇市立西脇中学校 (本館棟、校舎棟、昇降口棟)	西脇市小坂町 95 番 地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(1990 年版)	$I_s/I_{so} = 1.08$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.31$	-			
14	三木市立自由が丘小学校 (教室棟、管理棟、特別教室棟)	三木市志染町中自 由が丘三丁目 70 番 地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(1990 年版)	$I_s/I_{so} = 1.18$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.32$	-			
15	三木市立広野小学校 (普通教室棟、昇降口棟、管理特別 教室棟)	三木市志染町広野 二丁目 107 番地 1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so} = 1.30$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.40$	-			
16	三木市立志染小学校 (教室棟)	三木市志染町御坂 586 番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(1990 年版)	$I_s/I_{so} = 1.27$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.33$	-			
17	三木市立緑が丘東小学校 (普通教室棟、昇降口棟、管理特別 教室棟)	三木市緑が丘町東 四丁目 45 番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so} = 1.27$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.39$	-			
18	三木市立三木中学校 (特別教室・教室棟、教室棟・管理教 室棟、西・東渡り廊下)	三木市末広二丁目 250 番地 1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so} = 1.27$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.33$	-			
19	三木市立緑が丘中学校 (教室棟、玄関管理棟、管理特別教 室棟)	三木市緑が丘町東 四丁目 17 番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(1990 年版)	$I_s/I_{so} = 1.20$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.37$	-			
20	兵庫県立のじぎく特別支援学校 (1号棟、2号棟、管理棟、渡り廊 下)	三木市緑が丘町本 町 2 丁目 3-1 他 7 筆	特別支援学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 3 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so} = 1.26$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.41$	-		$U = 1.25$	
21	小野市立小野東小学校 (普通教室棟、特別教室棟、管理・ 普通教室棟、東北・東南渡り廊下)	小野市天神町 1185-1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 3 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so} = 1.06$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.33$	-			
22	小野市立小野南中学校 (管理棟、普通教室棟、特別教室 棟、東階段棟)	小野市大島町 598	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so} = 1.09$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.39$	-			
23	小野市立旭丘中学校 (北校舎棟、南校舎棟、東・西渡り 廊下)	小野市古川町字南 山 940-1 番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.37$	-			
24	小野市立河合中学校 (北校舎棟、南校舎棟、東・西渡り 廊下棟)	小野市三和町 493-2 番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{so} = 1.04$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.32$	-			
25	加西市立日吉小学校 (普通教室棟・管理棟)	加西市和泉町 56	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 3 次診断法」(1990 年版)	$I_s/I_{so} = 1.14$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.30$	-			

26	加西市立九会小学校 (北棟、南棟、東西渡り廊下)	加西市中野町 5	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.10$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.31$	-			
27	加西市立加西中学校 (管理・普通教室棟)	加西市上宮木町 524	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.25$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.84$	-			
28	加西市立泉中学校 (西棟、中央棟、東棟)	加西市満久町 685-11	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.10$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.61$	-			
29	加西市立善防中学校 (北棟、南棟、東西渡り廊下)	加西市両月町 484-2	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.14$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.38$	-			
30	加東市立福田小学校 (校舎棟)	加東市沢部 613-1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0} = 1.04$ $C_r \cdot S_0 = 0.46$	-			
31	加東市立東条中学校 (校舎棟)	加東市岩屋 610-31	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0} = 1.04$ $C_r \cdot S_0 = 0.35$	-			
32	加東市立社中学校 (校舎棟)	加東市木梨 1134-62	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0} = 1.01$ $C_r \cdot S_0 = 0.31$	-			
33	加東市立滝野中学校 (管理・教室棟)	加東市下滝野 761	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0} = 1.52$ $C_r \cdot S_0 = 0.36$	-			
34	国立大学法人兵庫教育大学附属小学校	加東市山国 2013-4	小学校	-	-	-			
	南校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s = 0.73$ $q = 2.36$				
	北校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.97$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.39$				
	低学年校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所用の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{s0} = 1.50$				
35	多可町立中町中学校 (北校舎、南校舎、東渡り廊下)	多可郡多可町中区 奥中 588	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.02$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.30$	-			
36	多可町立八千代中学校	多可郡多可町八千代区 中野間 680	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.20$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.57$	-			
37	福崎町立田原小学校 (校舎棟)	神崎郡福崎町西田 原 1274	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.04$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.50$	-	$U = 1.25$		
38	福崎町立福崎小学校 (北校舎棟、南校舎棟)	神崎郡福崎町馬場 169-4	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.10$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.38$	-	$U = 1.25$		
39	福崎町立福崎東中学校 (校舎棟)	神崎郡福崎町南田 原 1200-1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.16$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.39$	-	$U = 1.25$		
40	相生市立中央小学校 (普通教室・特別教室棟、管理・教室棟、東・西渡り廊下)	相生市旭 5丁目 16 番 67号	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.38$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.32$	-			
41	相生市立那波中学校 (管理教室棟・-2、特別教室棟、東・西・北渡り廊下)	相生市那波本町 5-44	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.21$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.34$	-			
42	たつの市立神部小学校	たつの市揖保川町 黍田 434番地	小学校	-	-	-			
	本校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.37$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.47$			$U = 1.2$	
	北校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.02$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.43$				$U = 1.25$
	東昇降口、渡り廊下、西昇降口			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s/I_{s0} = 1.07$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.51$				
43	たつの市立揖保小学校	たつの市揖保町西 構 67	小学校	-	-	-			
	本校舎、北校舎、東渡り廊下、西渡り廊下			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.04$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.32$				
	昇降口			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s = 1.56$ $q = 6.24$				

44	たつの市立神岡小学校	たつの市神岡町上横内 51	小学校	-	-	-	U = 1.17
	北校舎、本校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.03$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.39$	-	
	渡り廊下			建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。))に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる	-	
45	たつの市立新宮小学校 (教室棟、管理棟、渡り廊下)	たつの市新宮町新宮 437 番地	小学校	「公立学校施設に係る大規模地震対策関係法令及び地震防災対策関係法令の運用細目」(昭和55年7月23日付け文管助第217号文部大臣裁定)	$I_s = 0.70$ $q = 2.43$	-	
46	たつの市立御津小学校	たつの市御津町釜屋 206 番地	小学校	-	-	-	U = 1.17
	本校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.01$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.56$	-	
	北校舎、給食受入室				$I_s/I_{s0} = 1.04$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.79$	-	
	東昇降口			建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。))に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる	-	
	東渡り廊下			建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。))に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる	-	
	西昇降口			建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。))に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる	-	
47	たつの市龍野西中学校 (本校舎、北校舎、西校舎、昇降口、東渡り廊下、体育館渡り廊下、体育館)	たつの市揖西町小神字芦原 30 番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.03$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.31$	-	
48	たつの市立揖保川中学校 (教室棟)	たつの市揖保川町正條 471 番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.01$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.40$	-	
49	たつの市立龍野東中学校	たつの市龍野町日飼 100 番地	中学校	-	-	-	U = 1.25
	本校舎 1・2 階、中校舎、北校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.07$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.81$	-	
	本校舎 3 階			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.77$ $q = 1.54$	-	
50	兵庫県立播磨特別支援学校	たつの市揖西町中垣内乙 135 番地	特別支援学校	-	-	-	U = 1.25
	本館管理棟、中校舎、北校舎、自立活動棟、啓成棟、三省棟、友愛棟、スロープ、渡り廊下、寄宿舎サービス棟、渡り廊下、体育館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.25$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.38$	-	
	渡り廊下			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s = 0.81$ $q = 3.24$	-	
51	赤穂市立赤穂小学校 (校舎棟)	赤穂市加里屋 37 番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.02$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.30$	-	
52	赤穂市立御崎小学校 (校舎棟、渡り廊下)	赤穂市朝日町3番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.01$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.65$	-	
53	赤穂市立坂越小学校 (校舎棟、屋内運動場、渡り廊下棟)	赤穂市坂越 1696 番地の1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.00$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.36$	-	U = 1.25
54	赤穂市立赤穂東中学校 (北校舎 -1 棟、南校舎 -1 棟、東校舎棟、渡り廊下)	赤穂市朝日町1番地の1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.02$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.47$	-	

55	赤穂市立赤穂中学校 (校舎棟、渡り廊下)	赤穂市加里屋 2800 番地の 1	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{s0} = 1.00$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.40$	-	$G = 1.10$
56	赤穂市立赤穂西中学校 (校舎棟、東渡り廊下)	赤穂市塩屋 1870 番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{s0} = 1.00$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.43$	-	
57	兵庫県立赤穂特別支援学校 (教室棟、管理棟、昇降口棟)	赤穂市大津 1305 番地	特別支援学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 3 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{s0} = 1.30$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.39$	-	$U = 1.25$
58	宍粟市立神戸小学校	宍粟市一宮町東市場 788	小学校	-	-	-	
	教室棟、西渡り廊下棟、管理教室棟、東渡り廊下棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{s0} = 1.02$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.38$	-	
	東昇降口棟、西昇降口棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011 年版)	$I_s = 0.80$ $q = 3.20$	-	
59	宍粟市立千種小学校 (校舎)	宍粟市千種町千種 29	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{s0} = 1.13$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.45$	-	
60	宍粟市立波賀小学校 (校舎)	宍粟市波賀町安賀 748-2	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(1990 年版)	$I_s/I_{s0} = 1.01$ $C_r \cdot S_0 = 0.36$	-	
61	宍粟市立波賀中学校 (普通教室棟)	宍粟市波賀町安賀 244	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(1990 年版)	$I_s/I_{s0} = 1.04$ $C_r \cdot S_0 = 0.30$	-	
62	太子町立石海小学校 (特別・管理教室棟、教室棟)	揖保郡太子町福地 422	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{s0} = 1.04$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.49$	-	$U = 1.25$
63	上郡町立山野里小学校 (南校舎、北校舎、渡り廊下)	赤穂郡上郡町山野里 2142 番地 1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{s0} = 1.27$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.38$	-	
64	佐用町立佐用中学校 (管理教室棟、教室棟、廊下棟)	佐用郡佐用町本位田乙 104-5	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{s0} = 1.00$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.38$	-	$U = 1.25$
65	豊岡市港西小学校 (普通特別教室棟、管理特別教室棟)	豊岡市瀬戸 57 番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{s0} = 1.00$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.58$	-	
66	豊岡市立五荘小学校	豊岡市中陰 1 番地	小学校	-	-	-	
	普通教室棟・管理棟、特別教室棟、渡り廊下棟、普通教室棟、昇降口・渡り廊下棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{s0} = 1.02$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.42$	-	
	屋内運動場			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996 年版)	$I_s = 0.73$ $q = 1.20$	-	
67	豊岡市豊岡南中学校	豊岡市大磯町 1 番 65 号	中学校	-	-	-	
	普通教室棟、管理特別教室棟、渡り廊下棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{s0} = 1.00$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.48$	-	
	屋内運動場			「屋内運動場等の耐震性能診断基準」	$I_s = 0.73$ $q = 1.09$	-	
68	豊岡市立豊岡北中学校 (教室棟、障害児・特別棟、管理棟、特別教室棟)	豊岡市中陰 250 番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{s0} = 1.01$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.33$	-	
69	豊岡市立日高西中学校 (校舎・昇降口棟、特別教室棟)	豊岡市日高町庄境 410 番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{s0} = 1.01$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.77$	-	
70	豊岡市日高東中学校 (管理・特別教室棟、教室・便所棟、特別教室棟、昇降口・廊下棟、渡り廊下その他棟)	豊岡市日高町水上 160 番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{s0} = 1.04$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.41$	-	
71	兵庫県立出石特別支援学校	豊岡市出石町宮内 2-8	特別支援学校	-	-	-	
	A 棟、B 棟、体育館			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 2 次診断法」及び「第 3 次診断法」(2001 年版)	$I_s/I_{s0} = 1.30$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.40$	-	$U = 1.25$
	C 棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第 1 次診断法」により想定する地震動に対して所用の耐震性を確保していることを確認する方法	$I_s/I_{s0} = 1.41$	-	

		渡り廊下			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s = 1.05$ $q = 2.19$		
72	養父市立大屋中学校 (管理教室棟、特別教室棟、渡り廊下棟)	養父市大屋町加保45-1	中学校		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.18$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.42$	-	
73	朝来市立山口小学校 (校舎南棟、階段室棟、渡り廊下棟、昇降口棟)	朝来市羽淵565番地2	小学校		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.11$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.32$	-	
74	朝来市立大蔵小学校 (校舎棟)	朝来市和田山町宮田220	小学校		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.04$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.77$	-	
75	朝来市立竹田小学校 (北校舎、南校舎、渡り廊下)	朝来市和田山町安井61	小学校		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so} = 1.11$ $C_r \cdot S_0 = 0.81$	-	
76	朝来市立枚田小学校	朝来市和田山町和田山474	小学校		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.47$	-	
77	朝来市立朝来中学校 (南棟、北棟、東棟、西棟)	朝来市新井92番地	中学校		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.32$	-	
78	朝来市立梁瀬中学校 (校舎棟)	朝来市山東町楽音寺159番地	中学校		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.40$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.38$	-	
79	香美町立兎塚小学校	美方郡香美町村岡区福岡324	小学校		-	-	-	
	校舎棟、屋内運動場			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so} = 1.05$ $C_r \cdot S_0 = 0.30$	-		
	幼稚園棟			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版)	$I_s = 0.89$ $q = 1.12$	-		
80	香美町立村岡小学校	美方郡香美町村岡区村岡2940	小学校		-	-	-	
	管理教室棟、屋内運動場			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.05$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.49$	-		
	特別教室・幼稚園棟			建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあっては、地震に係る部分に限る。)に限る。)に適合するものであることを確認する方法	確認できる	-		
81	香美町立香住第一中学校 (普通教室棟、昇降口棟、渡り廊下棟、便所棟)	美方郡香美町香住区香住919-2	中学校		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.31$	-	
82	新温泉町立浜坂中学校 (校舎)	美方郡新温泉町浜坂77-185	中学校		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.00$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.35$	-	$G = 1.10$
83	篠山市立丹南中学校 (管理室・特別教室棟、普通教室・特別教室棟、教室・特別教室棟、特別教室棟)	篠山市味間新192	中学校		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.01$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.79$	-	渡り廊下部分は未診断 (平成29年度実施予定)
84	丹波市立佐治小学校 (特別教室棟)	丹波市青垣町佐治282-3	小学校		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so} = 1.25$ $C_r \cdot S_0 = 0.80$	-	
85	丹波市立和田小学校 (管理・特別教室棟、普通教室棟)	丹波市山南町和田1	小学校		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so} = 1.25$ $C_r \cdot S_0 = 0.38$	-	
86	丹波市立崇広小学校 (管理・特別教室棟、普通・特別教室棟、渡り廊下棟(東・西))	丹波市柏原町柏原683	小学校		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.25$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.40$	-	
87	丹波市立北小学校	丹波市水上町扇山608	小学校		-	-	-	
	南校舎			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so} = 1.45$ $C_r \cdot S_0 = 0.48$	-		
	北校舎、渡り廊下			一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{so} = 1.56$ $C_{10} \cdot S_0 = 0.32$	-		
88	丹波市立中央小学校 (北校舎、南校舎、渡り廊下)	丹波市水上町成松186-1	小学校		一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{so} = 1.33$ $C_r \cdot S_0 = 0.30$	-	

89	丹波市立市島中学校 (教室棟、特別教室棟、昇降口、渡り廊下(屋内)、倉庫棟)	丹波市市島町上垣 2002	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.03$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.53$	-	
90	丹波市立春日中学校 (南校舎、北校舎、昇降口棟)	丹波市春日町野村 2476	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第3次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0} = 1.26$ $C_r \cdot S_0 = 0.35$	-	
91	洲本市立大野小学校 (教室棟)	洲本市大野318番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0} = 1.25$ $C_r \cdot S_0 = 0.31$	-	
92	洲本市立五色中学校 (普通教室棟、管理・特別教室棟、東・西渡り廊下棟)	洲本市五色町広石 北125番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.06$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.38$	-	
93	洲本市立青雲中学校 (管理・教室棟、特別教室棟、屋内運動場)	洲本市物部三丁目 10番1号	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.16$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.42$	-	
94	洲本市立由良中学校 (教室棟)	洲本市由良町由良 2355-1番地	中学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0} = 1.43$ $C_r \cdot S_0 = 0.46$	-	
95	南あわじ市立阿万小学校 (管理教室棟)	南あわじ市阿万下 町420番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.25$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.43$	-	$U = 1.25$
96	南あわじ市立賀集小学校 (校舎)	南あわじ市賀集 1000番地	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.26$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.39$	-	$U = 1.25$
97	南あわじ市立福良小学校 (管理棟、教室棟)	南あわじ市福良乙 1205	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.31$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.40$	-	$U = 1.25$
98	淡路市立石屋小学校 (校舎A・B・C棟)	淡路市岩屋529-1	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1990年版)	$I_s/I_{s0} = 1.27$ $C_r \cdot S_0 = 0.41$	-	
99	淡路市立志筑小学校 (管理教室棟、教室棟)	淡路市志筑1578	小学校	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	$I_s/I_{s0} = 1.25$ $C_{70} \cdot S_0 = 0.39$	-	

危険物の貯蔵場又は処理場の用途に供する建築物

No.	建築物の名称	建築物の位置	建築物の主たる用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価の結果	耐震改修等の予定		備考
						内容	実施時期	
1	ディーゼルユナイテッド試運転工場、機械・組立工場	相生市相生5292番地	危険物を貯蔵又は処理する建築物	一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(2011年版)	$I_s = 0.04$ $q = 0.17$	未定		

附表 耐震診断の評価の結果と構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価

耐震診断の方法		構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
「公立学校施設に係る大規模地震対策関係法令及び地震防災対策関係法令の運用細目」(昭和55年7月23日付け文管助第217号文部大臣裁定)		$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 I_s$ かつ $1.0 q$
一般財団法人日本建築防災協会による「木造住宅の耐震診断と補強方法」に定める「精密診断法」		上部構造評点 < 0.7	0.7 上部構造評点 < 1.0	1.0 上部構造評点
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨造建築物の耐震診断指針」(1996年版、2011年版)		$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.6 I_s$ かつ $1.0 q$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所用の耐震性を確保していることを確認する方法		-	-	$1.0 I_s/I_s0$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1990年版)		$I_s/I_s0 < 0.5$ 又は $C_r \cdot S_0 < 0.15$	左右以外の場合	$1.0 I_s/I_s0$ かつ $0.3 C_r \cdot S_0$ 1.25 $1.25 < C_r \cdot S_0$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2001年版)		$I_s/I_s0 < 0.5$ 又は $C_{T0} \cdot S_0 < 0.15 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 I_s/I_s0$ かつ $0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U$ $C_{T0} \cdot S_0$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1983年版)		$I_s/I_s0 < 0.5$	左右以外の場合	$1.0 I_s/I_s0$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(1997年版)	鉄骨材が充腹材の場合	$I_s/I_s0 < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_D < 0.125 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 I_s/I_s0$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot G \cdot U$ $C_r \cdot S_0$
	鉄骨材が非充腹材の場合	$I_s/I_s0 < 0.5$ 又は $C_T \cdot S_D < 0.14 \cdot Z \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 I_s/I_s0$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot G \cdot U$ $C_r \cdot S_0$
一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」及び「第3次診断法」(2009年版)	鉄骨材が充腹材の場合	$I_s/I_s0 < 0.5$ 又は $C_{T0} \cdot S_0 < 0.125 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 I_s/I_s0$ かつ $0.25 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$ $C_{T0} \cdot S_0$
	鉄骨材が非充腹材の場合	$I_s/I_s0 < 0.5$ 又は $C_{T0} \cdot S_0 < 0.14 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$	左右以外の場合	$1.0 I_s/I_s0$ かつ $0.28 \cdot Z \cdot R_t \cdot G \cdot U$ $C_{T0} \cdot S_0$
「屋内運動場等の耐震性能診断基準」		$I_s < 0.3$ 又は $q < 0.5$	左右以外の場合	$0.7 I_s$ かつ $1.0 q$
建築物の構造耐力上主要な部分が昭和56年6月1日以降におけるある時点の建築基準法(昭和25年法律第201号)並びにこれに基づく命令及び条例の規定(構造耐力に係る部分(構造計算にあつては、地震に係る部分に限る。)に限る。)に適合するものであることを確認する方法		-	-	確認できる

- ・大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。
- ・大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。
- ・大規模の地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。

震度6強から7に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示す。いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度5強程度の中規模の地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはない。

表に掲げる補正係数 Z 、 R_t 、 G 、 U については、備考欄に記載のある場合を除き1.0である。